

## 法人化等による担い手の育成

事業名：経営構造対策事業（平成15年度認定）  
 地区名：愛知県西尾市西尾地区  
 事業主体：農事組合法人レインボー（複合経営促進施設）  
 福地高設栽培施設利用組合（複合経営促進施設）  
 西三河農業協同組合（農畜産物集出荷貯蔵施設）  
 施設名：複合経営促進施設 22棟32,481.18㎡（H15・17）  
 農畜産物集出荷貯蔵施設 バラ選花場 1棟480㎡（H17）  
 事業費：702,257千円（国費：337,137千円）

### 1. 各組織の概要

組織名	農事組合法人レインボー	福地高設栽培施設利用組合
構成員	9名	4名
設立年月日	H14.11.1	H15.2.28
業務内容等	共同利用施設の設置及び農作業の共同化	栽培施設の利用並びに苗の管理及び供給
連絡先	農事組合法人レインボー 0563-53-0771 Eメール: rose18-9rainbow@cd.wakwak.com	西三河農業協同組合営農部園芸課 0563-56-3341 Eメール: engei@ja-nishimikawa.com

### 2. 取組概要

#### (1) 施設導入経緯

西尾地区においては、都市化の進展により農家戸数の減少（H7:2,474名 H12:2,220名）、農業後継者の高齢化等（65才未満の農業専従者のいる農家H7:781戸 H12:663戸）で担い手不足が懸念されていた。

一方、主要作物の一つであるバラ及びいちごの生産農家の中には効率的・安定的な経営を図るため、法人化等による共同化により規模拡大を希望する農家がいるものの、初期投資が過大となることから規模拡大に踏み切れないでいた。

#### (2) 取組概要

意欲ある農家が法人を設立し、また、任意の利用組合を立ち上げ

ることによって、平成15年度から経営構造対策事業により複合経営促進施設（バラ、いちご栽培）を整備することにより、効率的・安定的な農業経営体の育成を図っているところである。

こうした取組の結果、事業実施1年度目にして認定農業者が69名から84名と大幅に増加したところである。

現在、農事組合法人によるバラ栽培及び任意の利用組合によるいちご栽培と併せ、新たな利用組合の立ち上げとによる比較的高収益のいちご栽培の推進等により、当地区の抱える課題の解消に取り組んでいるところである。

### 3. 目標設定

#### (1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率（%）、下段：面積（ha）			遊休農地の解消	
計画時 （人）	目標 （人）	増加率 （%）	市町村目標割 合（%）	地区目標割合 （%）	計画時	目標	増加率 （%）	計画時 （ha）	目標 （ha）
69	90	130.4	3.6	4.1	(39.0%) 1,213.0	(59.5%) 1,850.6	20.5	0.0	0.0

#### (2) 地区選択目標

雇用の創出		労働時間の短縮（いちご育苗）	
計画時（人）	目標（人）	計画時（hr/10a）	目標（hr/10a）
0	15	523.0	335.0

#### 整備施設

複合経営促進施設外観（バラ）



複合経営促進施設内部（いちご）

